

# 「恋人の聖地」輝く6万球

石神の丘美術館、きょうから

岩手

岩手町は10日から、同町五日市の石神の丘美術館で、バレンタインイルミネーションを行う。2回目の今年は、屋外展示場を飾る発光ダイオード（LED）を6万個に倍増。コラボ商品の発売や、道の駅石神の丘と連動した企画も繰り広げ、町の冬の観光スポット化を進める。19日まで。

同美術館は静岡市のNPO法人から「恋人の聖地」に認定されており、イルミネーションは主に若者世代をターゲットに昨年始めた。LED電球を同展示場のほか、美術館入り口付近にも飾り、展示場のラベンダー園をイメージした薄紫色にライトアップする。

コラボ商品の発売も

コラボ商品は「おしくらまんじゅう」と名付けたあんまん、同町のめん類製造業・粉夢（菊地百合社長）が開発。生地には町のナガイモを使いもちもちした食感を出し、こしあんを刻んだサツマイモをくるみ、素朴な甘さに仕上げた。

期間中の金曜日曜日に同美術館に軽食スペースを設けて販売する。1個200円で、菊地社長は「訪れたカップルや家族で楽しみ、体を温めてほしい」と願う。

点灯時間は午後4～同8時（10日は同6時から。15日休み）。金曜日曜日は道の駅石神の丘とレストランの営業時間も延長。問い合わせは町企画商工課（0195・62・2111）へ。



イルミネーションに合わせて作った粉夢のあんまん「おしくらまんじゅう」